# 事業所における自己評価結果（公表）　【放課後等デイサービス】

公表：　令和　5年　1月　19日　　事業所名：　**放課後等デイサービスだいち**

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 座卓は収納可能なものを使い、必要なときにスペースを確保できるようにしている | 基準上必要な面積は十分満たしているが、児童の特性や活動内容によってスペースの確保に工夫が必要 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 基準上の人員よりも多くスタッフを配置し、安全確保を行っている | 利用児童の特性に配慮した人員配置を都度検討していく |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | ○ | | 日頃から安全点検を行い、異常個所の確認と修復に努めている | バリアフリー化を必要とする児童の利用が無いが、今後必要に応じて検討していく |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | | ○ | | 朝礼や毎週の定例会議を通して全スタッフへの情報共有を行っている | 今後もコロナウイルス感染症の影響で集まることが難しい場面も想定されるが、継続可能な方法で情報共有の場を設けていく |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 送迎時やモニタリングなどの場を活用しながら、保護者からのお話を聞く機会を大切にしている | 今回の評価表だけではなく、日ごろから保護者の意見や気持ちを聞く機会を積極的に設け、また相談しやすい関係性を築いていく |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 事業開始から毎年分の評価表をインターネットで公表している | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | ○ | | | 事業規模に応じて、第三者機関による評価を検討していく |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 毎月1回、言語聴覚士を講師としてスタッフ研修を行っている | 専門分野の方による全体研修を継続。また県や市の行っている研修にスタッフが積極的に参加できる環境を整える |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 児発管を中心に直接支援に関わるスタッフも一緒に意見を交わし、計画書を作成している | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | ○ | | 児童がWISCなどの検査を受けた際には保護者から結果を共有して頂き、その後の支援に繋げている | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | | ○ | | スタッフだけでなく、児童の要望を取り入れ、臨機応変な活動を計画している | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | | ○ | | 新たな活動やお出かけ先のアイデアをスタッフで出し合い、検討した上で取り入れている | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | | ○ | | 学期期間中、長期休暇とそれぞれに応じて活動内容を検討している | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 児童の特性や状況に配慮して活動内容を提案している | |
| | 15 | 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 毎日の朝礼やSNSを活用して周知している | スタッフが積極的に意見を出し合える職場環境を整える |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | SNSを活用し、事業所間に限らず、全スタッフで報告を共有している | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 利用個票の正確な記録と内容の充実を会議の場を活用し、周知している | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 定期的にカンファレンスを行い、情報を得た上でモニタリングと計画の見直しを行っている | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | ○ | | | 活動内容が固定化しないように工夫している | |

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 児発管だけでなく、直接支援に携わっているスタッフが同席するようにしている | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ | | | 保護者への連絡体制を整え、トラブル発生時には責任者を中心に対応している | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | ○ | | | アセスメントの段階で保護者への連絡体制を確認し、児童の状態をこまめに共有している | 医療的ケアを必要とする児童の利用が無いので必要に応じて今後検討していく |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | ○ | | 契約時に児童に関わる情報をなるべく多く共有して頂けるように努めている | 保護者の了承を得た上で、就学前の状況を共有する機会を設ける |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | ○ | | | 現在移行となった事例が無い為、必要に応じて今後検討していく |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | | 研修に積極的に参加し、相談や連携のしやすい関係づくりに努める |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | ○ | 公園や公共施設などの地域資源を利用する中で、交流の機会を得ている | コロナ禍での交流会の実施は難しいが、必要に応じて今後検討していく |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | | | ○ | | 事業所として協議会等への理解を深め、参加を検討していく |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 児童の様子や活動については送迎担当へ伝え、保護者へ共有している | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | | ○ | | ペアレントトレーニングについての理解を深め、研修会等への参加を今後検討していく |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 契約時の説明を徹底し、事業所での掲示を行っている | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 普段から気軽に相談しやすい関係作りを大切にしている | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | ○ | | | コロナの影響もあり、実施できなかった。コロナの状況や実施の方法についての検討が今後課題になる |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 保護者からの意見や要望について、管理者や児発管への報告・共有の体制を整えている | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | | ○ | | 利用個票やSNSを活用し毎日の活動の様子を発信している | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | SNSは非公開ページに設定。紙媒体は鍵付のキャビネットで保管している | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | グループLINEとは別に、個別の相談ができるような連絡体制を整えている | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | ○ | | | 以前は地域住民の方を講師として招いた行事を行っていたが、コロナ禍で実施ができない状況が続いている。保護者会や児童館との交流と共に必要に応じて検討していく |

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | 事業所内の掲示物やグループLINEを活用し都度共有している。 | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 今年度は避難訓練と救急救命講習会（AED使用）実施した | 避難訓練、救急救命講習会を継続して実施していく |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 月1回の虐待防止委員会の実施や定例会議内で数回の研修を行った | 虐待防止委員会の継続とスタッフへの定期的な研修を実施していく |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | ○ | | | 身体拘束の必要な児童の利用がないので、状況に応じて今後検討していく |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | 食の特性にも配慮し、おやつ準備や弁当の注文を行っている | 食物アレルギーについて契約時に医師の指示書の有無を確認していく |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | | ○ | | 全事業所にて共有している | |

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。（該当する方に○を記入）

# 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）　【放課後等デイサービス】

公表： 令和 5年 1月 19日

事業所名： **放課後等デイサービス だいち**　保護者等数（児童数） 17名　回収数 13名　割合 76%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 10 | 3 | 0 | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 8 | 5 | 0 | | |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 10 | 3 | 0 | | |
| 適切な支援の提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 i が作成されているか | 13 | 0 | 0 | | |
| | ⑤ | 活動プログラム ii が固定化しないよう工夫されているか | 11 | 2 | 0 | | |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 7 | 6 | 0 | | |
| 保護者への説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 13 | 0 | 0 | | |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 13 | 0 | 0 | | |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 12 | 1 | 0 | | |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 4 | 6 | 3 | | |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 10 | 3 | 0 | | |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 13 | 0 | 0 | | |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 13 | 0 | 0 | ・SNSに抵抗のある方も活動の様子を見られるようなものがあると良いと思います。 | 個人情報に配慮しつつ、保護者の方々が気軽に活動の様子が見られるような媒体を今後検討していく。 |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 11 | 2 | 0 | | |
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 10 | 3 | 0 | | |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 10 | 3 | 0 | | |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 10 | 3 | 0 | ・安心できる居場所ができ、心の安定につながっています。 | 児童たちがより安心して、安全に成長できる場所となるとように努めていく。 |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 12 | 1 | 0 | ・一緒に子どもの成長を支援してくださり、心強いです。<br>・優しい支援を頂き、感謝しています。 | 児童や保護者の気持ちを大切にしながら、組織的かつ臨機応変な対応を目指していく。 |

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

# 事業所における自己評価結果（公表）　【放課後等デイサービス】

公表:　令和　5年　1月　19日　　事業所名:　**放課後等デイサービスおおぞら**

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | | ○ | | 1階、2階と活動スペースを分けて基準よりも広く使えるようにしている | 基準上必要な面積は十分満たしているが、児童の特性や活動内容によってスペースの確保に工夫が必要 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 基準上の人員よりも多くスタッフを配置し、安全確保を行っている | 利用児童の特性に配慮した人員配置を都度検討していく |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | ○ | | 日頃から安全点検を行い、異常個所の確認と修復に努めている | バリアフリー化を必要とする児童の利用が無いので必要に応じて今後検討していく |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 朝礼や毎週の定例会議を通して全スタッフへの情報共有を行っている | 事業所もスタッフも増えている状況だが、会議や毎朝の打ち合わせを継続し情報共有を図る |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 送迎時やモニタリングなど保護者からの話を聞く機会を大切にしている | 今回の評価表だけではなく、日ごろから保護者の意見や気持ちを聞く機会を積極的に設け、また相談しやすい関係性を築いていく |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 事業開始から毎年分の評価表をインターネットで公表している | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | ○ | | | 事業規模に応じて、第三者機関による評価を検討していく |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 毎月1回、言語聴覚士を講師としてスタッフ研修を行っている | 専門分野の方による全体研修を継続。また県や市の行っている研修にスタッフが積極的に参加できる環境を整える |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 児発管を中心に直接支援に関わるスタッフも一緒に意見を交わし、計画書を作成している | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | ○ | | 児童がWISCなどの検査を受けた際には保護者から結果を共有して頂き、その後の支援に繋げている | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | スタッフだけでなく、児童の要望を取り入れ、臨機応変な活動を計画している | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 新たな活動やお出かけ先のアイデアをスタッフで出し合い、検討した上で取り入れている | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | | ○ | | 学期期間中、長期休暇とそれぞれに応じて活動内容を検討している | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 児童の特性や状況に配慮して活動内容を提案している | |
| | 15 | 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 毎日の朝礼やSNSを活用して周知している | スタッフが積極的に意見を出し合える環境を整える |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | | ○ | | SNSを活用し、事業所間に限らず、全スタッフで報告を共有している | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 利用個票の正確な記録と内容の充実を会議の場を活用し、周知している | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 定期的にカンファレンスを行い、情報を得た上でモニタリングと計画の見直しを行っている | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | | ○ | | 活動内容が固定化しないように工夫している | |

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 児発管だけでなく、直接支援に携わっているスタッフが同席するようにしている | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ | | | 保護者への連絡体制を整え、トラブル発生時には責任者を中心に対応している | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | ○ | | アセスメントの段階で保護者への連絡体制を確認し、児童の状態をこまめに共有している | 医療的ケアを必要とする児童の利用が無いので必要に応じて今後検討していく |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | | ○ | | 契約時に児童に関わる情報をなるべく多く共有して頂けるように努めている | 保護者の了承を得た上で、就学前の状況を共有する機会を設ける |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | ○ | | | 現在移行となった事例が無い為、必要に応じて今後検討していく |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | | 研修に積極的に参加し、相談や連携のしやすい関係づくりに努める |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | ○ | | 公園や公共施設などの地域資源を利用する中で、交流の機会を得ている | コロナ禍での交流会の実施は難しいが、必要に応じて今後検討していく |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | | | ○ | | 事業所として協議会等への理解を深め、参加を検討していく |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 児童の様子や活動については送迎担当へ伝え、保護者へ共有している | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | ○ | | | | ペアレントトレーニングについての理解を深め、研修会等への参加を今後検討していく |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 契約時の説明を徹底し、事業所での掲示を行っている | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 普段から気軽に相談しやすい関係作りを大切にしている | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | ○ | | コロナの影響もあり、実施できなかった。コロナの状況や実施の方法についての検討が今後課題になる |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 保護者からの意見や要望について、管理者や児発管への報告・共有の体制を整えている | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | 利用個票やSNSを活用し毎日の活動の様子を発信している | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | SNSは非公開ページに設定。紙媒体は鍵付キャビネットで保管している | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | グループLINEとは別に、個別の相談ができるような連絡体制を整えている | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | | 以前は地域住民の方を講師として招いた行事を行っていたが、コロナ禍で実施ができない状況が続いている。保護者会や児童館との交流と共に必要に応じて検討していく |

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | | ○ | | 事業所内の掲示物やグループLINEを活用し都度共有している。 | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 今年度は避難訓練と救急救命講習会（AED使用）実施した | 避難訓練、救急救命講習会を継続して実施していく |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 月1回の虐待防止委員会の実施や定例会議内で数回の研修を行った | 虐待防止委員会の継続とスタッフへの定期的な研修を実施していく |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | ○ | | | 身体拘束の必要な児童の利用がないので、状況に応じて今後検討していく |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | 食の特性にも配慮し、おやつ準備や弁当の注文を行っている | 食物アレルギーについて契約時に医師の指示書の有無を確認していく |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | | ○ | | 全事業所にて共有している | |

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。（該当する方に○を記入）

# 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）　【放課後等デイサービス】

公表：令和 5年 1月 19日

事業所名：**放課後等デイサービス おおぞら**　保護者等数（児童数） 23名　回収数 22名　割合 96%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 16 | 6 | 0 | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 22 | 0 | 0 | | |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 12 | 9 | 1 | | |
| 適切な支援の提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 i が作成されているか | 22 | 0 | 0 | ・子どもの特性を理解した上で保護者の要望も盛り込まれていると思う | 児童一人一人の特性を考慮しつつ、今後も児童支援とともに家庭支援の体勢を整えていく。 |
| | ⑤ | 活動プログラム ii が固定化しないよう工夫されているか | 22 | 0 | 0 | | |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 8 | 13 | 1 | | |
| 保護者への説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 21 | 1 | 0 | | |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 22 | 0 | 0 | | |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 22 | 0 | 0 | | |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 2 | 13 | 7 | | |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 20 | 2 | 0 | | |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 21 | 1 | 0 | | |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 22 | 0 | 0 | | |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 21 | 1 | 0 | | |
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 19 | 1 | 2 | | |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 17 | 5 | 0 | | |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 21 | 1 | 0 | ・今までいやがったことが一度もないです。<br>・いつも楽しそうに帰ってきてありがたいです。 | 楽しみにしてくれている児童が引き続き期待感を持って通えるよう、支援内容や活動について今後も検討していく。 |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 21 | 1 | 0 | ・大大大満足です。先生方の対応もすばらしいです。 | 児童や保護者の気持ちを大切にしながら、組織的かつ臨機応変な対応を目指していく。 |

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

# 事業所における自己評価結果（公表）　【放課後等デイサービス】

公表:　令和　5年　1月　19日　　事業所名:　**放課後等デイサービスたいよう**

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 収納可能な座卓を使い、スペースを確保している | 基準上必要な面積は十分満たしているが、児童の特性や活動内容によってスペースの確保に工夫が必要 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 基準上の人員よりも多くスタッフを配置し、安全確保を行っている | 利用児童の特性に配慮した人員配置を都度検討していく |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | ○ | | 日頃から安全点検を行い、異常個所の確認と修復に努めている | バリアフリー化を必要とする児童の利用が無いので必要に応じて今後検討していく |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 朝礼や毎週の定例会議を通して全スタッフへの情報共有を行っている | 事業所もスタッフも増えている状況だが、会議や毎朝の打ち合わせを継続し情報共有を図る |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 送迎時やモニタリングなど保護者からの話を聞く機会を大切にしている | 今回の評価表だけではなく、日ごろから保護者の意見や気持ちを聞く機会を積極的に設け、また相談しやすい関係性を築いていく |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 事業開始から毎年分の評価表をインターネットで公表している | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | ○ | | | 事業規模に応じて、第三者機関による評価を検討していく |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 毎月1回、言語聴覚士を講師としてスタッフ研修を行っている | 専門分野の方による全体研修を継続。また県や市の行っている研修にスタッフが積極的に参加できる環境を整える |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 児発管を中心に直接支援に関わるスタッフも一緒に意見を交わし、計画書を作成している | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | 児童がWISCなどの検査を受けた際には保護者から結果を共有して頂き、その後の支援に繋げている | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | スタッフだけでなく、児童の要望を取り入れ、臨機応変な活動を計画している | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 新たな活動やお出かけ先のアイデアをスタッフで出し合い、検討した上で取り入れている | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 学期期間中、長期休暇とそれぞれに応じて活動内容を検討している | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 児童の特性や状況に配慮して活動内容を提案している | |
| | 15 | 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 毎日の朝礼やSNSを活用して周知している | スタッフが積極的に意見を出し合える環境を整える |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | SNSを活用し、事業所間に限らず、全スタッフで報告を共有している | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 利用個票の正確な記録と内容の充実を会議の場を活用し、周知している | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 定期的にカンファレンスを行い、情報を得た上でモニタリングと計画の見直しを行っている | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | ○ | | | 活動内容が固定化しないように工夫している | |

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 児発管だけでなく、直接支援に携わっているスタッフが同席するようにしている | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ | | | 保護者への連絡体制を整え、トラブル発生時には責任者を中心に対応している | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | | アセスメントの段階で保護者への連絡体制を確認し、児童の状態をこまめに共有している | 医療的ケアを必要とする児童の利用が無いので必要に応じて今後検討していく |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | | 契約時に児童に関わる情報をなるべく多く共有して頂けるように努めている | 保護者の了承を得た上で、就学前の状況を共有する機会を設ける |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | | | 現在移行となった事例が無い為、必要に応じて今後検討していく |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | | 研修に積極的に参加し、相談や連携のしやすい関係づくりに努める |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | ○ | | | 公園や公共施設などの地域資源を利用する中で、交流の機会を得ている | コロナ禍での交流会の実施は難しいが、必要に応じて今後検討していく |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | | ○ | | | 事業所として協議会等への理解を深め、参加を検討していく |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 児童の様子や活動については送迎担当へ伝え、保護者へ共有している | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | ○ | | | ペアレントトレーニングについての理解を深め、研修会等への参加を今後検討していく |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 契約時の説明を徹底し、事業所での掲示を行っている | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 普段から気軽に相談しやすい関係作りを大切にしている | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | ○ | | コロナの影響もあり、実施できなかった。コロナの状況や実施の方法についての検討が今後課題になる |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 保護者からの意見や要望について、管理者や児発管への報告・共有の体制を整えている | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | 利用個票やSNSを活用し毎日の活動の様子を発信している | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | SNSは非公開ページに設定。紙媒体は鍵付キャビネットで保管している | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | グループLINEとは別に、個別の相談ができるような連絡体制を整えている | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | | 以前は地域住民の方を講師として招いた行事を行っていたが、コロナ禍で実施ができない状況が続いている。保護者会や児童館との交流と共に必要に応じて検討していく |

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | 事業所内の掲示物やグループLINEを活用し都度共有している。 | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 今年度は避難訓練と救急救命講習会（AED使用）実施した | 避難訓練、救急救命講習会を継続して実施していく |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 月1回の虐待防止委員会の実施や定例会議内で数回の研修を行った | 虐待防止委員会の継続とスタッフへの定期的な研修を実施していく |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | | | 身体拘束の必要な児童の利用がないので、状況に応じて今後検討していく |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | 食の特性にも配慮し、おやつ準備や弁当の注文を行っている | 食物アレルギーについて契約時に医師の指示書の有無を確認していく |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | 全事業所にて共有している | |

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。（該当する方に○を記入）

# 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）　【放課後等デイサービス】

公表： 令和 5年 1月 19日

事業所名： **放課後等デイサービス たいよう**　保護者等数（児童数）21名　回収数　14名　割合　67%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 11 | 3 | 0 | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 13 | 1 | 0 | | |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 11 | 3 | 0 | | |
| 適切な支援の提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 i が作成されているか | 14 | 0 | 0 | | |
| | ⑤ | 活動プログラム ii が固定化しないよう工夫されているか | 9 | 5 | 0 | | |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 4 | 7 | 3 | | |
| 保護者への説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 14 | 0 | 0 | | |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 14 | 0 | 0 | | |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 14 | 0 | 0 | | |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 1 | 6 | 7 | | |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 9 | 4 | 1 | | |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 13 | 1 | 0 | | |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 11 | 3 | 0 | | |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 12 | 1 | 1 | | |
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 10 | 3 | 1 | | |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 10 | 4 | 0 | | |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 14 | 0 | 0 | | |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 14 | 0 | 0 | ・いつもニコニコ帰ってきます。 | 児童や保護者の気持ちを大切にしながら、組織的かつ臨機応変な対応を目指していく。 |

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

# 事業所における自己評価結果（公表）　【放課後等デイサービス】

公表：　令和　5年　1月　19日　　事業所名：　**放課後等デイサービスひかり**

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | | ○ | | それぞれの活動に集中できるような環境を整えている | 基準上必要な面積は満たしているが、児童の特性や活動内容によってスペースの確保に工夫が必要 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | | ○ | | 基準上の人員よりも多くスタッフを配置し、安全確保を行っている | 利用児童の特性に配慮した人員配置を都度検討していく |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | | | ○ | 日頃から安全点検を行い、異常個所の確認と修復に努めている | バリアフリー化を必要とする児童の利用が無いので必要に応じて今後検討していく |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 朝礼や毎週の定例会議を通して全スタッフへの情報共有を行っている | 事業所もスタッフも増えている状況だが、会議や毎朝の打ち合わせを継続し情報共有を図る |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 送迎時やモニタリングなど保護者からの話を聞く機会を大切にしている | 今回の評価表だけではなく、日ごろから保護者の意見や気持ちを聞く機会を積極的に設け、また相談しやすい関係性を築いていく |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 事業開始から毎年分の評価表をインターネットで公表している | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | ○ | | | | 事業規模に応じて、第三者機関による評価を検討していく |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 毎月1回、言語聴覚士を講師としてスタッフ研修を行っている | 専門分野の方による全体研修を継続。また県や市の行っている研修にスタッフが積極的に参加できる環境を整える |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 児発管を中心に直接支援に関わるスタッフも一緒に意見を交わし、計画書を作成している | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | | ○ | | 児童がWISCなどの検査を受けた際には保護者から結果を共有して頂き、その後の支援に繋げている | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | スタッフだけでなく、児童の要望を取り入れ、臨機応変な活動を計画している | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | | ○ | | 新たな活動やお出かけ先のアイデアをスタッフで出し合い、検討した上で取り入れている | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | | ○ | | 学期期間中、長期休暇とそれぞれに応じて活動内容を検討している | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 児童の特性や状況に配慮して活動内容を提案している | |
| | 15 | 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 毎日の朝礼やSNSを活用して周知している | スタッフが積極的に意見を出し合える環境を整える |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | SNSを活用し、事業所間に限らず、全スタッフで報告を共有している | |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | | ○ | | 利用個票の正確な記録と内容の充実を会議の場を活用し、周知している | |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 定期的にカンファレンスを行い、情報を得た上でモニタリングと計画の見直しを行っている | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | | ○ | | 活動内容が固定化しないように工夫している | |

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 児発管だけでなく、直接支援に携わっているスタッフが同席するようにしている | |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ | | | 保護者への連絡体制を整え、トラブル発生時には責任者を中心に対応している | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | ○ | | | アセスメントの段階で保護者への連絡体制を確認し、児童の状態をこまめに共有している | 医療的ケアを必要とする児童の利用が無いので必要に応じて今後検討していく |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | | 契約時に児童に関わる情報をなるべく多く共有して頂けるように努めている | 保護者の了承を得た上で、就学前の状況を共有する機会を設ける |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | | | 現在移行となった事例が無い為、必要に応じて今後検討していく |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | ○ | | | 研修に積極的に参加し、相談や連携のしやすい関係づくりに努める |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | ○ | | | 公園や公共施設などの地域資源を利用する中で、交流の機会を得ている | コロナ禍での交流会の実施は難しいが、必要に応じて今後検討していく |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | | | ○ | | 事業所として協議会等への理解を深め、参加を検討していく |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 児童の様子や活動については送迎担当へ伝え、保護者へ共有している | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | ○ | | | ペアレントトレーニングについての理解を深め、研修会等への参加を今後検討していく |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 契約時の説明を徹底し、事業所での掲示を行っている | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 普段から気軽に相談しやすい関係作りを大切にしている | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | ○ | | コロナの影響もあり、実施できなかった。コロナの状況や実施の方法についての検討が今後課題になる |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 保護者からの意見や要望について、管理者や児発管への報告・共有の体制を整えている | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | 利用個票やSNSを活用し毎日の活動の様子を発信している | |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | SNSは非公開ページに設定。紙媒体は鍵付キャビネットで保管している | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | グループLINEとは別に、個別の相談ができるような連絡体制を整えている | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | ○ | | | 以前は地域住民の方を講師として招いた行事を行っていたが、コロナ禍で実施ができない状況が続いている。保護者会や児童館との交流と共に必要に応じて検討していく |

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | 事業所内の掲示物やグループLINEを活用し都度共有している。 | |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 今年度は避難訓練と救急救命講習会（AED使用）実施した | 避難訓練、救急救命講習会を継続して実施していく |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 月1回の虐待防止委員会の実施や定例会議内で数回の研修を行った | 虐待防止委員会の継続とスタッフへの定期的な研修を実施していく |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | ○ | | | 身体拘束の必要な児童の利用がないので、状況に応じて今後検討していく |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | | | ○ | 食の特性にも配慮し、おやつ準備や弁当の注文を行っている | 食物アレルギーについて契約時に医師の指示書の有無を確認していく |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | | ○ | | 全事業所にて共有している | |

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。（該当する方に○を記入）

# 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）　【放課後等デイサービス】

公表： 令和 5年 1月 19日

事業所名： **放課後等デイサービス ひかり**　保護者等数（児童数）　17名　回収数　13名　割合　76%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 13 | 0 | 0 | ・庭遊びができてとてもいい環境だと思います。 | 児童たちも楽しみにしている屋外での活動を続けられるように安全確保を徹底していく。 |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 13 | 0 | 0 | | |
| | ③ | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 8 | 5 | 0 | | |
| 適切な支援の提供 | ④ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 i が作成されているか | 13 | 0 | 0 | | |
| | ⑤ | 活動プログラム ii が固定化しないよう工夫されているか | 12 | 2 | 0 | | |
| | ⑥ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 4 | 8 | 1 | | |
| 保護者への説明等 | ⑦ | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 13 | 0 | 0 | | |
| | ⑧ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 13 | 0 | 0 | | |
| | ⑨ | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 12 | 1 | 0 | | |
| | ⑩ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 1 | 4 | 8 | | |
| | ⑪ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 13 | 0 | 0 | | |
| | ⑫ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 13 | 0 | 0 | | |
| | ⑬ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 13 | 0 | 0 | | |
| | ⑭ | 個人情報に十分注意しているか | 13 | 0 | 0 | | |
| 非常時等の対応 | ⑮ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 12 | 0 | 1 | | |
| | ⑯ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 13 | 0 | 0 | | |
| 満足度 | ⑰ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 13 | 0 | 0 | | |
| | ⑱ | 事業所の支援に満足しているか | 13 | 0 | 0 | ・全体的にとても満足しています。 | 児童や保護者の気持ちを大切にしながら、組織的かつ臨機応変な対応を目指していく。 |

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。